

パブリックコメントの意見一覧（A:計画に反映させる17件）

総No.	掲載ページ <small>(パブコメ用冊子)</small>	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
31	48	入院患者 「○特徴・ ○課題」	どんなときも (脳梗塞モデルなど)	人生のライフイベントで脳梗塞などのモデルを考慮したとき、入院⇒急性期⇒回復期⇒施設・在宅などの場面での口腔ケアや歯科医療を促進できる体制づくりも検討したらよいと思います。	A:計画に反映させる	下記のとおり計画に追記します。 ○特徴「・退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには医科・歯科・薬科の連携が大切です。」 ○課題「・退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。」
35	23	ミニコラム 「セルフケア」		歯みがき粉の種類が多くてどれを選んでよいのかわからない。フッ素の含有量の目安とかが分かると選びやすいと思います。みがき方やみがく回数、いつみがく等知っている様で知らないかも。	A:計画に反映させる	現在、市販されている歯みがき剤の9割は、むし歯予防に効果があるフッ化物が含有されています。利用方法については、コラムに記載したいと思います。
65	38	低ホスファターゼ症	その他	低ホスファターゼ症はあまり知られていない病気のため、1,6、3歳児健診で案内が必要かと思います。	A:計画に反映させる	「低ホスファターゼ」の項目に「1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査等で周知啓発を行っていきます」と追記します。
106	全体	グラフ	グラフ	円グラフのそれぞれに少し隙間が空いているので、色盲のある人にも見やすいように配慮されていると思います。さらにデザインを変える（聞いたことがある=ドット、聞いた事がない=無地など）するとより配慮されると思います。	A:計画に反映させる	御意見いただいたとおり、グラフのデザインに配慮し、だれでも見やすいわかりやすい計画となるよう努めます。
137	59	4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化（2）関係機関との連携強化	「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画」への意見	「はつらつスマイルプラン」には「むし歯のない子どもの割合100%を達成するためにはその前提として、全ての子どものむし歯の有無を確認する必要がありますし、また全ての子どもとその保護者が口腔保健の重要性を理解する機会や予防的対応を施すことできるということが必要になると考えられます。すなわち、全ての子どもが何らかの形で口腔保健へのアクセスが可能であることが重要であると思われます。一方近年の日本社会では家庭の経済的格差が子どもの健康や教育に大きな問題となっている事が指摘されており、歯科健診事業に関わっていると口腔保健に関しても同様な状況があると感じられます。経済的余裕のある家庭の子どもは、保護者が口腔保健の重要性を認識し、時間的また経済的余裕があるため歯科医へのアクセスが容易で適切な受診が可能であり、良好な口腔保健状態を得る機会が与えられていますが、経済的に困窮する家庭やひとり親の家庭の子どもは、時間的あるいは経済的な理由から歯科健診などの適切な口腔保健にアクセスする機会が失われ、知らないうちにむし歯などの歯科疾患が進行してしまう事例が多々あるのではないかと懸念しています。ここで問題となるのは、口腔保健の啓発やむし歯などの口腔疾患の早期発見や予防に繋げるといった歯科健診では、家庭の事情などにより健診に参加しない、あるいは参加できないため、歯科疾患への高いリスクがあるような、本来、最も口腔保健の必要とされる子どもたちが、公衆衛生活動の対象から漏れて、置き去りにされる可能性があることです。したがって、このような環境にある子どもたちには、これまでとは異なったアプローチが必要ではないかと思われます。例えば経済的な困窮から家庭で十分な食事が与えられない子どもたちへの食事提供を行っている「こども食堂」に注目してもよいかもしれません。上記のような口腔の公衆衛生事業や活動では捉えきれない子どもたちと、子ども食堂で食事をする子どもたちの集団はかなり重なっていることが予想されることに加え、近年の口腔保健においては、単に歯科口腔疾患の予防や治療といった考えから、栄養学的や生活習慣も含めた食育というアプローチが唱えられており、このような観点から、子ども食堂の活動に口腔保健や食育に関する啓発や指導を行うようなアプローチもありうるのではないかと考えています。「むし歯のない子どもの割合100%を目指す」ためには、歯科専門職や公的機関が主催する事業、活動とともに、口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなどと協働により、口腔保健を広く普及させることが期待できるのではと思われます。	A:計画に反映させる	御指摘いただいたとおり、近年課題となっている家庭の経済的格差は子どもの歯と口の健康にも大きく影響を及ぼしていると考えております。従来行ってきた保健福祉センターやこども園等での歯科保健指導に加え、例示いただいた「こども食堂」等、様々な機会や場所に出向き、アプローチしていくことも重要だと認識しております。「子どものむし歯ゼロ」を目指して歯科保健医療関係者だけでなく、口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなどとの協働も積極的に行っていきたいと思っておりますので、「基本方針4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化」に「施策の方向性」として、下記の文言を追記します。 「口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなど（例こども食堂）との協働も積極的に行います。」

パブリックコメントの意見一覧（A:計画に反映させる17件）

総No.	掲載ページ <small>(パブコメ用冊子)</small>	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
147	22	施策の方向性	施策の体系いつでもだれでもどんなときでも	施策の中に高校生、大学生への対応が見つからないように思う。生活も不規則になりがちなこの世代へのアプローチが必要だと考える。	A:計画に反映させる	御指摘のとおり、大学生への対応が記載されていなかったため、施策の方向性に記載します。
178	54	コラム	災害時（非常時）の口腔ケアについて	防災用非常持ち出し袋の中に、一応用意しています。準備の仕方を具体的にイラストや画像などで教えていただけるとわかりやすいかと思います。（歯ブラシ、液体歯みがき、タオル、水など）また、ドラッグストアで歯ブラシなどを購入しますので、液体歯みがきのコーナーなどに「防災用非常持ち出し袋の中に入れておきましょう」という掲示等があると準備しやすくなるのではないかと思います。	A:計画に反映させる	「災害時に気を付けたいお口のケア」コラム欄を設け、準備しておきたい歯ブラシ等の物品を掲載するほか、様々な機会を捉え、啓発していきます。
183	全体	コラム	歯と口の健康状態を進捗管理のところについて	パブリックコメント概要資料を見ますと、最新の研究結果等を反映させることで・・・と書いてあるのですが、計画の中のどこの部分にも書いていないような気がします。 科学者や専門家の方の最新の研究結果は知りたい人も多いと思いますので、今わかる範囲で良いので最新の研究結果を掲載してください。	A:計画に反映させる	計画のコラムの内容に最新の研究結果を盛り込んでいきます。
189	13	施策の方向性	第4章計画推進体制	近年子ども達に口呼吸や鼻炎等による口腔機能発達不全が多く見られ、それに伴い歯列不正や咬合異常が非常に多くなってきていると思われます。乳幼児期からの噛んで食べる習慣の減少も原因とみられるので、食事指導対する啓蒙や補助も拡大して欲しいです。さらには歯列矯正にかかる費用の補助金を検討していただくと、子供達の為になると思います。今後とも宜しくお願いします。	A:計画に反映させる	御指摘のとおり、乳幼児期からの噛んで食べることの重要性を啓発していくため、乳幼児期の施策の方向性に記載の文言を下記のとおり修正します。 「 <u>口腔機能の獲得に留意し、「食」のスタートである乳幼児期に歯と口を使ってよく噛んで味わい食べる楽しみや安全に食べるために姿勢の重要性等について、知識の普及を図ります。</u> 」

パブリックコメントの意見一覧（A:計画に反映させる17件）

総No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
190	8 ・ 48	施策の体系 「入院患者」 ・ 入院患者 「○特徴・ ○課題」	案の8頁および48頁入院患者について	<p>病院歯科口腔外科の勤務医です。</p> <p>入院患者において、歯科と医科がそれぞれの専門分野について理解を深め情報共有することにより、必要な患者さんが必要な口腔機能管理を受けられるような体制を整備するとの条例案、素晴らしいと感じます。</p> <p>そのことに関しての提案です。</p> <p>入院に至った原因疾患の病態によっては、退院後も中長期にわたり歯性感染由来の合併症を生ずることがあります。例えば、がんの術後経過によっては、ビスホスホネートや抗RANCL抗体などの骨吸収抑制薬が必要になる場合があります。投与開始後には顎骨壊死に至ることが少なくありませんが、投与直前になって（あるいは投与開始した後で）歯科介入をしても十分に歯性感染をコントロールできずに苦慮する場合があります。したがって、がんの手術後は普段から、かかりつけ歯科でのしっかりした口腔管理が必要と考えられます。また、心臓血管外科の手術後には多くの場合、感染性心内膜炎予防の観点から抜歯などの観血処置に際して抗菌薬の予防投与が推奨されています。それらの場合、医科の主治医とかかりつけ歯科医との間で知識と情報を共有する有用性があると考えられます。具体的にはかかりつけ歯科への逆紹介の推進やお互いの医療情報の共有が有用と考えられます。</p> <p>そこで、条例案に以下のような加筆を提案いたします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例案の8頁：入院患者に『退院後の病態に応じて適切にかかりつけ歯科での管理が受けられるよう、体制整備に取り組みます。』</li> <li>・条例案の48頁： ○特徴『・退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには歯科と医科との連携が大切です。』 ○課題『・退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。』</li> </ul>	A:計画に反映させる	<p>下記のとおり計画に追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案の8頁：入院患者に「<u>退院後の病態に応じて適切にかかりつけ歯科での管理が受けられるよう、体制整備に取り組みます。</u>」</li> <li>・計画案の48頁： ○特徴「<u>退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには歯科・歯科・薬科の連携が大切です。</u>」 ○課題「<u>退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。</u>」</li> </ul>
200	59	4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化（2）関係機関との連携強化	関係機関との連携強化	がん患者・糖尿病患者療養における医科歯科連携を入れてはどうか	A:計画に反映させる	<p>「基本方針4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化」の「（2）関係機関との連携強化」「施策の方向性」に下記の文言を追記します。</p> <p>「<u>糖尿病をはじめとする生活習慣病の患者さんが必要な治療や保健指導が受けられるよう関係機関と連携を取ることのできる体制を整備します。</u>」</p>
202	61・62	市民の取組		昨今のコロナ禍では「感染予防はまず自身で取り組むことが必要である」ということが見えた。同じことが歯科口腔保健でも言えるのではないか。すなわち、「自身の健康はその背景となる生活習慣を含め、自身で気づき、実践しなければいけない」ということ。いくらよい施策も、市民に伝わらなければいけない。「この計画は市民のものである」旨をどこかに記載できたらよいのではないかと思う。	A:計画に反映させる	<p>第4章の「市民の取組」に下記のとおり記載します。</p> <p>「<u>歯と口の健康づくりは市民の皆さんご自身の取組で決まります。</u>」</p>
203	63	市民を支える関係者の取組	学童期・思春期（p17）	学校歯科医の役割を具体的に記載した方がよいのではないか。	A:計画に反映させる	学校歯科医の役割（歯科健診、歯科保健指導など）を、第4章の「市民を支える関係者の取組」に記載します。

パブリックコメントの意見一覧（A:計画に反映させる17件）

総No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
204	34	施策の方向性	高齢期（p34）	フッ化物利用の推進について記載してはどうか。	A:計画に反映させる	御意見いただいたとおり、フッ化物利用の記載がない（指標に「40歳以上でフッ化物を利用している者の割合の増加（再掲）」記載のみ）ため、根面むし歯の予防と関連づけて、フッ化物利用の推進について下記のとおり記載します。 ・施策の方向性「 <u>根面むし歯の予防に効果的であるフッ化物の利用を推進します。</u> 」
205	40	施策の方向性	障がい児・者（p40）	障害者歯科保健センターと地域の歯科診療所との役割分担を明記してはどうか。	A:計画に反映させる	地域の歯科診療所との連携の重要性を認識しておりますので、施策の方向性の文言を下記のとおり修正します。 （修正前）「障がい児・者が、地域で安心して歯科診療を受けることができるよう、環境の整備を図るとともに」 （修正後）「障がい児・者が、地域で安心して歯科診療を受けることができるよう、 <u>関係機関と連携し、環境の整備を図るとともに</u> 」
206	48	入院患者「○特徴」	医科歯科連携（p48）	がんのみならず、他の疾患もその特性を踏まえて記載してはどうか。病院歯科との連携や役割なども含めて。	A:計画に反映させる	「基本方針2（4）入院患者」の「特徴」を下記のとおり修正します。 （修正前）「がんをはじめとする全身麻酔下での手術を受ける患者さんに対し」 （修正後）「がん、 <u>心疾患、脳血管疾患などの</u> 全身麻酔下での手術を受ける患者さんに対し」
207	63	市民を支える関係者の取組	関係機関との連携強化（p59）	歯科医師会の役割を具体的に明記してはどうか。	A:計画に反映させる	歯科医師会と協議しながら、第4章の「市民を支える関係者の取組」に明記する方向で進めます。